2019 年第 80 回応用物理学会秋季学術講演会
「男女共同参画ＮＥＷＭＡＰ懇親会」開催報告

男女共同参画委員会
委員長　小川　賀代
ＮＥＷＭＡＰ担当　斉藤　公彦

開催日時：2019 年 9 月 20 日（金）12:00～13:00
開催場所：北海道大学札幌キャンパス E317
参加人数：３０名

第 80 回応用物理学会秋季学術講演会期間中に，男女共同参画委員会活動の一環として毎年この学会期間に実施している「ＮＥＷＭＡＰ懇親会」を、多様性推進若手チャプターと合同開催しました。

本ＮＥＷＭＡＰ会合は、２０１３年の秋季学術講演会に女性研究者を中心とした交流の場として発足した旧女子会から数えて、春季学術講演会でのミニ懇親会も含めると今回で１３回目、ＮＥＷＭＡＰと名称変更してからは９回目になります。今回は例年の様な人通りの多いエリアでは無く一般教室での開催であった上、会場の規定でポスター案内ができないという状況下でしたが、メーリングリストやＳＮＳでの告知、また多様性推進若手チャプターとの合同開催ということで、３０名という多くの方々に集まって頂きました。

従来ＮＥＷＭＡＰでは、男女を問わず男女共同参画に興味がある人、男女共同参画に関わる問題で悩みがある人等が気軽に集まって相談や議論をしたり、ネットワークを広げたりとする機会の場として本会合を提供していましたが、最近発足した多様性推進若手チャプターでは本会合がキックオフミーティングの位置づけとなっており、本若手チャプターの代表発起人である奈良先端科学技術大学院大学の藤井先生による挨拶とチャプター紹介で会が始まり、前半を立食形式による軽食を取りながらの自由な懇談、後半を今後の若手チャプターで取り上げてもらいたい課題等について藤井先生の進行で議論が行われました。具体的には、「仕事と家事育児の両立について」、「男性の家庭進出を推進するには」、「上司世代の意識改革について」といった男女共同参画推進のどちらかというと現場サイドに近い課題から、「理系の女性人口の増加を図るには」、「ドクター学生の増加を促進するには」、「応用物理学会の多様な若手会員を増やすには」といった equalization の普遍化や学会における diversity の推進を目指した議論まで幅広く行われました。短時間でありながら、女性、男性、学生、社会人と分け隔てなくかなり活発かつ深い議論が行われ、参加者にとっても非常に有意義な会合になったと思います。

今回議論された課題（要望）は今後若手チャプターで引き続き議論と対策案の検討が行われていく予定であり、ＮＥＷＭＡＰとしては、これらの幅広い議論に向けたプラットフォームの活用等によるサポートを行う予定です。このため、来年度以降の本懇親会も若手チャプターとの合同開催でできればと考えております。一方で、男女共同参画に関心がある方が参加しやすいランチタイムに開催されるため時間に制限があり、交流と議論の時間をもう少し長く確保するにはどうすれば良いかが今後の課題とも感じました。